

立命館経済學

第36卷 第4・5号

1987年12月

加藤睦夫教授退任記念論文集

内 容

加藤睦夫教授退任記念論文集の刊行にさいして……………	大藪輝雄	1
軍拡と軍縮の経済学構築についての批判的一試論……………	鷺見友好	3
税制改革とコモン・ストック……………	池上惇	22
加藤睦夫教授の租税理論……………	内山昭	44
——批判的紹介——		
ECのテレビ政策……………	清水貞俊	78
——共同市場の完成へ向けて——		
三月前期のプロイセンにおける「農民解放」による 農村社会制度の変化とその政治的作用……………	川本和良	98
西ドイツ経済・財政政策論理の特徴……………	坂野光俊	124
市場調整的生産価格と虚偽の社会的価値……………	杉野明	156
国際的経済関係の諸概念について……………	岩田勝雄	191
杉本昭七教授の危機把握の方法について……………	田中宏道	208
日本企業の海外直接投資と貿易収支……………	稲葉和夫	238
——産業別考察——		
アダム・スミスの「天文学史」と「科学」の方法……………	大西広	268
大学生活40年を振り返って……………	加藤睦夫	293
加藤睦夫教授略歴・主要著作目録……………		308

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第36巻・第2号

論 説

自由主義価値規範への2つの対応としての

「ポスト・モダン」と新自由主義……………大 西 広
1880年代の階級構成(2)……………後 藤 靖

三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と

社会政策および中間層政策の展開(六)……………川 本 和 良
私的所有の発展とアジアの生産様式の崩壊過程……………杉 野 罔 明
アジアの生産様式に関する理論的研究(四)

研 究

“構造転換”への西ドイツ労働組合の対応……………布 川 日 佐 史
——DGB “雇用重視の先見的構造政策”構想の検討を中心に

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第36巻・第3号

論 説

新しい企業理論のパラダイムに向けて……………小 野 進
——日本企業の企業行動の特質の概念化への準備

三月前期のプロイセンにおける「社会問題」と

社会政策および中間層政策の展開(七)……………川 本 和 良
発展途上国の経済成長と世界計量マクロモデル……………本 田 豊
代替的な数量モデル研究の経過と展望……………大 西 広

Towards A Global History of Political

Economy in Economic Thought……………James F. Becker

研 究

財政投融资概念の検討……………梅 原 英 治

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会